

# 週刊長野

発行所／株式会社 週刊長野新聞社 E-mail info@weekly-nagano.co.jp

〒381-0036 長野市平林413番地3 ☎(026)244-5946 FAX(026)243-9285

広告取扱／㈱ながのアド・ビューロ☎(026)291-8604／㈱ケイシーシイ☎(026)234-5255

㈱共立プランニング☎(026)263-6100／㈱アサヒエージェンシー☎(026)233-2222

㈱週刊長野☎(026)244-5946 koukoku@weekly-nagano.co.jp

〔長野市・豊野町・戸隠村・鬼無里村・中条村・〕120,000部  
〔小川村・信州新町・牟礼福井団地・大岡村〕

配布地域

週刊長野

〔 1 〕 2001年（平成13年）3月24日（土曜日） 第853号

〔 11 〕 2001年（平成13年）3月24日（土曜日）

週刊長野



←モーガン・オハラさん（アメリカ）。赴いた地で生活する職人や芸術家などの手の動きに合わせ、数本の鉛筆で線を描いていく「ライブトランスミッションズ（ライブな伝達）」。「最も迅速な命のサインは動き。見えない動きを即時にとらえることで記録されたのは人類の活動に参加している人々の手の動きや命の鼓動」なのだという。長野では柏屋（長野市末広町）のご主人・柏木久仁昭さんがそばを打つ動きを線描した。



↑西島一洋さん（名古屋ニパフ実行委員会代表）。中国のアーティストとの交流の記憶がテーマ。自らの行為は「体現」だという。数分間声を出し続けたりと、文字通り体で現しているという印象が強い。「たまたま拾った物を使うこともある。そんな出会いや自分の体から思いがけなく生まれるものが興味深い」。

## NIPAF '01 3月12日～13日 長野公演の様様

霜田さんいわく「アーティストひとりひとりの人生」という作品を創作したそれぞれの志や思い、背景にあるものに着目してみました。ともすれば、こっけいに映ってしまう姿に表現者たちの鋭い感情や欲望を感じます。これが「人間らしさ」なのかもしれません。

